

7月13日（月）

3年C組が 英語の授業を公開しました

本校では、英語と数学において少人数指導を実施しています。学級の生徒を2つのグループに分け、2つの教室で授業を実施します。生徒一人一人に目を向け、きめ細かな指導をすることが目的です。



この日の5時間目に、3年C組が英語の授業を公開しました。「スタンダードコース」と「ベーシックコース」の二つに分かれ、二人の英語科職員がそれぞれのコースを担当して授業を進めます。

今回の授業で扱ったのは「現在完了形」。日本人は普段意識していない「現在完了」という概念を、生徒とたちにどのように理解させるかということが授業のポイントとなりました。

授業者の二人は、その概念を「マグネット」と「ビニールテープ」を用いて生徒たちに指導しました。「現在完了」の概念をビニールテープで、それと混同しやすい「過去」の概念を丸いマグネットで区別させました。言葉で説明するだけでもよいところを、生徒たちがより的確に理解できるよう授業に工夫を取り入れました。

生徒たちはマグネットとビニールテープを使い分け、現在完了形をより確かに理解したようでした。3年C組について、参観者からは次のような感想が出ました。

「生徒たちが授業の流れをつかんでいる。日々しっかりと学習している証拠だ。」

「教室が英語で満たされているような授業だった。生徒たちに英語を聞き取る力がついている。」

「いろいろな工夫をして表現しようとできている。」

「ベーシックコース。全員がしっかりと声を出し音読できていた。積極性がすばらしい。」



新型コロナウイルス感染症予防対策のため、授業には一定の制限が生まれています。しかしその中で、生徒と職員はよりよい授業を目指して、それぞれの立場から一生懸命に取り組んでいます。